

研修参加者の要件

- ① 「地域」という視点を持てる人材。
- ② すでに、地域活動をしている民間プレイヤー。またはこれから地域活動をしたい人。
- ③ 組織の中で、または個人で、事業運営に携わった経験がある人。

地域の活性化より先に、自身や家族の生活のこと、自社の業績アップを考えるのは、普通のことです。ましてや、休みの日に、好んで地域活性の勉強がしたい、というのは、本当に限られた人材と考えています。地域が好きで、すでに地域活動に関わっている人達はもちろん、これから地域活動に関わりたい人達※にも、チームを組んで参加してもらいます。

※専門性を有したこういう人材が地域には潜在している。（前年度振り返り）

<想定される、地域活動の民間プレイヤー>

- ・ 商店街 ・ 街づくり会社 ・ (地域に関わる) 一般社団法人
- ・ イベント実行委員会 ・ サークル組織 (SNSグループ含む)
- ・ 商工会の青年部 ・ 観光協会 など

こうした組織のメンバーや、こうした活動をしたいという人。

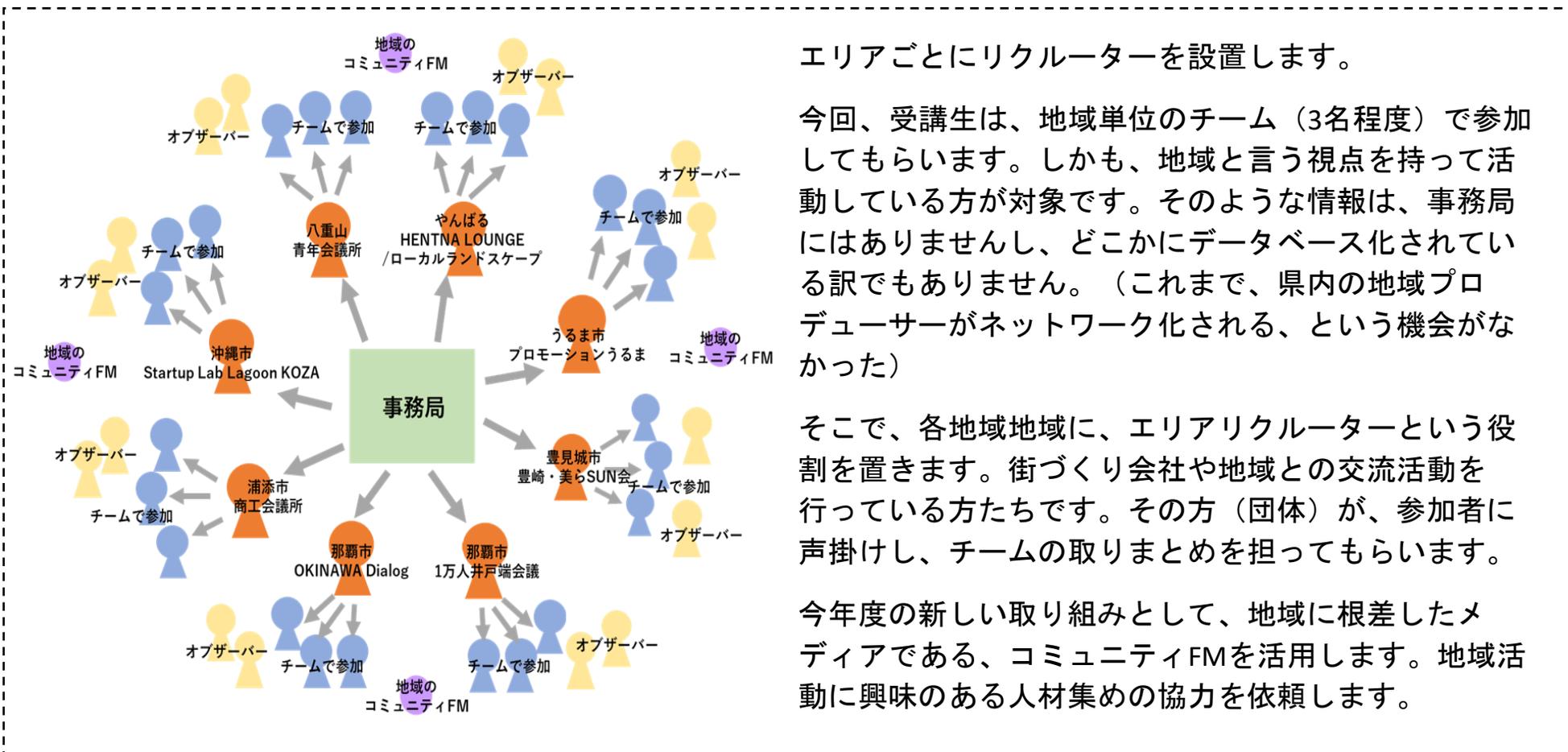


※行政担当者もオブザーバーとして参加可。

第5章 研修生の要件および募集方法

エリアリクルーターには、地域の①②への声がけを依頼。

- ① 地域の研修生候補者向けの説明会（8月頃実施）
- ② オブザーバー参加して欲しい関係者への声がけ（9月頃実施）



エリアごとにリクルーターを設置します。

今回、受講生は、地域単位のチーム（3名程度）で参加してもらいます。しかも、地域と言う視点を持って活動している方が対象です。そのような情報は、事務局にはありませんし、どこかにデータベース化されている訳でもありません。（これまで、県内の地域プロデューサーがネットワーク化される、という機会がなかった）

そこで、各地域地域に、エリアリクルーターという役割を置きます。街づくり会社や地域との交流活動を行っている方たちです。その方（団体）が、参加者に声掛けし、チームの取りまとめを担ってもらいます。

今年度の新しい取り組みとして、地域に根差したメディアである、コミュニティFMを活用します。地域活動に興味のある人材集めの協力を依頼します。

予算変動によりコミュニティFM広報費がカットになってしまったので、市町村を巻き込み、一緒に協力要請を行う